

福井県
肝炎医療コーディネーター
事例集

vol.1

肝炎医療コーディネーターの広がりと問題点

- + 肝炎医療コーディネーターは、肝炎ウイルス感染者の受検、受診、受療を進める重要な役割りを果たす。
- + 全国で、肝炎医療コーディネーター養成が広がっており、たくさんのコーディネーターが認定されている。
- + モチベーションの高いコーディネーターが散見される反面、何をすればよいか分からないコーディネーターが大半。
- + コーディネーターという肩書きを持ったことで、何かをしなければならぬとプレッシャーがかかる。



“事例集作成の試み (in福井)”

目次

◇コーディネート事例紹介（受検啓発・受診勧奨・受療支援）と役割	
① 拠点病院内科外来看護師	01～22
② 病棟看護師	23～28
③ 臨床検査技師	29～34
④ 調剤薬局薬剤師	35～44
⑤ クリニック看護師	45～50
⑥ 病院薬剤師	51～57
⑦ 行政機関(県)	58～63
⑧ 市町保健師	64～68
◆コーディネート事例の作り方	69～74
◇その他の肝疾患患者サポート業務事例紹介	
⑨ 栄養士	75～79
⑩ 理学療法士	80～84
◆事例集を作成することでのメリット	85

職種別

コーディネーター事例紹介 (内科**外来看護師**ver)

1

外来での**受検啓発**

2

症例①不妊治療中にHCV抗体(+)指摘

【年齢・性別】 29歳・女性

【経緯】 近医産婦人科で不妊治療中。

感染症のスクリーニング検査にて

HCV抗体(+)を指摘され当院へ紹介受診。

【家族構成】 夫と二人暮らし

【職歴】 パート(夫は会社員)

【既往歴・家族歴】 なし

3

夫が検査を受けない理由

①俺は関係ない、なんともない
…**必要性の理解不足**

②トラックの運転手なので、
休みが不規則で病院に行くのが難しい
…**検査機会の知識不十分**
(検査は平日に病院でしか出来ない
と思っている)

4



これをやればあなたも肝炎Co



ウイルス性肝炎指摘



同居の人に
肝炎ウイルス検査を勧める

5



私がCoとして意識していること(受検啓発)



肝炎患者の家族の
肝炎ウイルス検査は必須！



一方的な指導だけでは
患者や家族の心は動かない。



患者背景やニーズを聞き取り、
情報提供や原因の解消

6

外来での**受診**勧奨

7

症例②胸部異常陰影のため受診

【年齢・性別】 56歳・女性

【経緯】 4年前に健康診断で胸部異常陰影を指摘
2年に1回の定期受診のため来院

【職歴】 会社員

【既往歴】 なし(9年前に人間ドックでHCV(+)
を指摘されたが…)

8

053



これをやればあなたも肝炎Co



HCV抗体(+)であっても
肝機能異常がないという理由で
「経過観察」という名の
「放置」をしている

9

HCV抗体(+)なのに経過観察のみ



肝臓専門医への受診を勧める



私がCoとして+アルファでしていること

問診時にカルテをみる際には
必ず感染症を確認する
(肝疾患の患者だけでなく全患者)



未受診の肝炎ウイルス陽性者を
受診につなげる

11

054

外来での受療支援

12

症例④IFNフリー治療を勧められた患者

【年齢・性別】 75歳 女性

【経緯】 インターフェロン治療を受けたが無効

IFNフリー治療を勧められたが…

【家族構成】 夫と長男夫婦と孫の6人家族

13

患者がIFNフリー治療を受けたくない理由

- ①インターフェロン治療でのつらい経験がある
- ②治療を受けると、またつらくなるかもしれないという恐怖



主治医の話や説明を聞いても
自己決定できず、治療に踏み切れない

14



これをやればあなたも肝炎Co



不安が強くて
治療に踏み切れない人



無理に勧めず話を聞く

15



私がCoとして意識していること(受療支援)

- ① 患者が迷っている気持ちを聞き取る
- …受療を迷っている患者に
指導だけ行っても心は動かない

患者が落ち着くまで
患者の気持ちを聞き取る

16



私がCoとして意識していること(受療支援)

 患者が心を開く瞬間を待つ

・・・患者の話を聞き取っていると
患者が心を開く瞬間がある
そのタイミングで初めて指導をする

17

HCV拾い上げからの 受診勧奨

～もし異動することになったとしても～

18



これをやればあなたも肝炎Co



非専門科に受診した人が
HCV抗体(+)とわかったら

～他部署に異動してからが拾い上げのチャンス～



治療歴・検査歴を確認

(専門科のCoと協力して、専門医受診につなげる)

19



これをやればあなたも肝炎Co



HCV抗体(+)で
非専門医に通院中



肝臓専門医の受診を勧める

20

056



私がCoとして意識していること
(拾い上げからの受診勧奨)

☝ 他科にかかっている患者を拾い上げることこそ
コーディネーターの **醍醐味**

☝ 「近医で診てもらってるから大丈夫」
という患者の言葉は **鵜呑みにしない**

21

専門外来看護師（病院）の役割

●業務に+α（ひと工夫）編●

- ☝ 問診時に、検査歴の確認
→陽性者には治療歴も確認して受診勧奨
- ☝ 肝炎患者家族にも検査を勧める
→受けやすいように情報提供・ツール提供
- ☝ 非専門科の入院前検査等で陽性とわかった場合
→治療歴等なければ、専門医への受診勧奨

22

職種別

コーディネート事例紹介

(内科) **病棟看護師** ver)

23

057

病棟での**受検啓発**

24

症例①B型慢性肝炎にて入院中

【年齢・性別・職業】 22歳・女性・保育士

【既往歴・家族歴】 父がB型肝炎

【経緯】 B型慢性肝炎にて入院。

パートナーに肝炎ウイルス検査を受けてほしいが話を聞いてもらえず。
本人とパートナーに肝炎ウイルスについて説明し、検査できる近くの病院を紹介した。

25



これをやればあなたも肝炎Co



肝炎患者の家族・身近な人に 検査を勧めるときは



クリニック、保健所、 人間ドックなど健診のオ^oション ニーズにあった検査の機会を伝える

26



私がCoとして意識していること(受検啓発)



肝炎患者の身近な人に
肝炎検査を受けてもらう



患者を含めて一般の人は
肝炎ウイルスについて知識不足



患者背景やニーズを聞き 情報提供・受検啓発をする

27

看護師（病院内科病棟）の役割



入院中のウイルス性肝炎患者の**家族に受検の有無を確認し、**
していない場合は**受検を勧める。**



肝炎についての冊子・啓発チラシなどを
談話室やカウンターに置き、**情報発信**



肝炎医療Coの**バッジ**をつけ、**質問・相談などないか**
声掛けを行う。

28

職種別
コーディネーター事例紹介
(臨床検査技師_{ver})

29

入院患者の
受診(精査)促進

30

症例①：整形外科のOPE前検査にて
HCV抗体(+)

【年齢・性別】 30歳・男性

【経緯】 骨折にて整形外科受診。OPE適用となり
そのまま入院となる。OPE前検査の感染症
スクリーニング検査にてHCV抗体(+)を
検査室で確認。

OPEが終わった以降も「受検」で止まった
ままで治療歴も無い事から、主治医に精査を
提案した。

31



これをやればあなたも肝炎Co



最初にデータに触れるのは
臨床検査技師



陽性患者をリストアップして、
「受診」しているかフォローする！

32



私がCoとして意識していること(受診促進)



内科以外の科では『受検』で終わってしまうこともある



臨床側に精査をしてもらう
または内科にコンサルタントするよう働きかける

**陽性患者をフォローアップ
受診(精査)をうながす取り組み**

33

臨床検査技師の役割

【受検、受診、受療】



採血などの検査時に患者さんへの声かけ

【受診】



臨床側(特に非専門医など)に精査を促す

【受療の支援】



患者さんへの検査結果の説明

34

職種別
コーディネート事例紹介

(調剤薬局薬剤師_{ver})

35

060

保険薬局での
受診勧奨 - 1

36

症例③肝庇護薬の内服理由確認からの受診勧奨

【年齢・性別】60歳代・男性

【経緯】以前より薬局に来局、調剤実施。

UDCA服用中、服用理由を確認。

B型肝炎だと話されるも、処方歴無し

病院薬剤部の肝炎Coに連絡、確認。

結果C型肝炎治療実施、寛解後のフォロー中
と確認取れ、今回は問題なかった。

37



これをやればあなたも肝炎Co



肝庇護薬の理由確認
(必要に応じて処方医療機関のCoと連携)



ウイルス肝炎の患者であれば
専門医受診を勧める

38

私がCoとして意識していること(受診勧奨)



肝庇護薬を内服中の方に
理由(既往)を確認する



ウイルス肝炎の未受診者を
拾い上げる

39

保険薬局での
受診勧奨-2

40

症例④：問診からの受診勧奨

【年齢・性別】 50歳代・女性

【経緯】 初来局患者（かかりつけ薬局が休み）

問診票にてC型肝炎の既往記載あり。

詳細を聞くと、C型肝炎の治療を迷っており、公開講座など出席しているが、踏み切れず。

現在の薬物療法について説明実施。

是非受診して相談するように伝えた。

41



これをやればあなたも肝炎Co



問診で未受診者とわかったら、
未受診の理由を聞き取る



薬物への不安に対しては、
専門家である薬剤師からの説明
（最新のデータなどの情報提供）
により不安解消し、受診勧奨

42



私がCoとして意識していること（受診勧奨）



常に最新の薬物治療について
情報を更新していく



初診問診でウイルス肝炎既往の
記載があれば詳細確認



問診で拾い上げた未受診者には、
最新の情報提供と受診勧奨

43

薬剤師（保険薬局）の役割

【受検啓発】



新患問診などで検査歴を確認
→未検査者に検査を勧める

【受診勧奨】



他院処方を含む全ての服用薬の確認



新患問診などで既往歴の確認
→未治療者の拾い上げ

【受検・受診・受療】



情報発信の意識

→イベント情報提供、検査・治療の啓発

→専門職ならではのデータを示し受療促進

44

職種別 コーディネーター事例紹介 (クリニック看護師ver)

45

クリニックの外来での 受検啓発

46

症例②健診のついでに受検勧奨

【年齢・性別】 54歳・女性

【経緯】 特定健診、がん検診目的で受診。

過去の健診にて肝障害を指摘されたことがあるが、医療機関への受診はない。

【家族構成】 独居

【職歴】 飲食業

【既往歴・家族歴】 なし（10年前に夫が肝臓がんで死去）

47

063



これをやればあなたも肝炎Co



特定健診・がん検診の時に…



内視鏡検査前の同意取得時に…



肝炎ウイルス検査の
必要性を伝え検査を勧める

48



私がCoとして意識していること(受検勧奨)

肝炎に係る基本的知識の説明
肝炎ウイルス検査の受検勧奨



肝炎ウイルス検査の
未受検者を拾い上げる

49

看護師 (クリニック内科外来) の役割

- 👉 検査を促す **ポスター掲示** (可能なら作成も)
- 👉 特定 **健診受診者に肝炎ウイルス検査追加を勧める**
- 👉 **内視鏡前の同意取得時に検査を勧める**
- 👉 **受診中断している人に電話で受診勧奨**
- 👉 **抗ウイルス治療後の定期受診の勧奨**
- 👉 **患者家族にも肝炎ウイルス検査を勧める**
- 👉 **診察の前後に声かけし、不安解消・補足説明**

50

職種別

コーディネーター事例紹介

(**病院薬剤師** ver)

51

064

外来での **受療** 支援

52

症例①DAA治療薬と常用薬との薬物相互作用確認

【年齢・性別】74歳・女性

【経緯】 他院よりDAA治療目的に当院紹介受診。

マヴィレット開始予定のため、常用薬との薬物相互作用を確認。

【既往歴・家族歴】 C型肝炎、高血圧、脂質異常症、逆流性食道炎

【常用薬】 アムロジピン、パリエット、ストミン、リピトール、マーズレン、酸化マグネシウム、メイラックス、リボトリール、ジプレキサ

薬物相互作用を確認の際、併用禁忌薬となる**リピトール**の服用を確認。
Dr報告し、**リピトールを他剤へ変更**頂くようご検討頂く。

53



これをやればあなたも肝炎Co



日常業務の一つに、DAA相互作用の事前確認を取り組む



併用禁忌薬や相互作用の回避 受療支援

54

ファーマシューティカルケア (pharmaceutical care)

世界保健機関(WHO)による定義

薬剤師行動の中心に患者の利益を据える行動哲学

ファーマシューティカルケアは患者の保健およびQOLの向上のため、明確な治療効果を達成するとの目標をもって、薬物療法を施す際の、薬剤師の姿勢・行動、関与、関心、倫理、機能、知識・責務ならびに技能に焦点を当てるもの

『患者のQOLを改善する明確な成果を引き出す目的のために、責任ある薬物治療を提供すること』

ファーマシューティカルケアとして

当院での薬剤師の取り組みについて紹介

- ① 患者理解と内服管理
- ② 内服状況・嚥下機能に応じた服薬補助
- ③ 薬物間相互作用の確認
- ④ 各医療スタッフとの連携・適正使用
- ⑤ 薬局 在庫管理/システム
- ⑥ 患者教育

55

福井県済生会病院HCV DAA療法導入時の患者流れ



1階フロア一図

56

065

薬剤師（病院薬剤師）の役割

- 👉 薬物相互作用確認
- 👉 適正使用確認
- 👉 患者へのお薬紹介、副作用などの相談対応
- 👉 適正使用における啓蒙活動

病院薬剤師という立場を利用し、患者カルテ等の詳細な情報を確認できるメリットを活かす。調剤薬局薬剤師など院外の肝炎医療コーディネーターとの連携を図る。
また、薬の専門家として、患者やその家族のみならず、院内スタッフへの薬の正しい知識の理解を深め、薬物治療への不安を解消する。

57

職種別

コーディネーター事例紹介

行政機関(県)ver

58

県民への受検啓発

59

事例① 肝炎無料検査についてのお問い合わせ

【年齢・性別】 30代くらいの男性

【経緯】 テレビ番組で肝炎特集を見て、心配になったので肝炎ウイルス検査を受けてみようと思い、県に電話で問い合わせをした。

60



私がCoとして意識していること(受診勧奨)

👉 肝炎に対する不安を少しでも取り除けたら…

👉 どこに行けば無料で肝炎ウイルスの検査をしてもらえるのか…



肝炎に関することや、無料検査についての情報をHPでお知らせ

61



これをやればあなたも肝炎Co



相談者の話に耳を傾ける。
(電話や窓口での手続きなど)



肝炎無料検査を行っている医療機関を紹介する

62

行政機関(県)の役割

👉 **相談に適切に応じる**

ホームページを見て、県などの行政機関へ肝炎検査の相談電話をかけてくる一般の方に、無料で検査ができる最寄りの医療機関を紹介。

👉 **相談者と医療機関の間を円滑にする**

電話相談で紹介した医療機関には、相談者が今後検査相談に来るであろうことを伝える。

63

067

職種別

コーディネート事例紹介

(市町保健師ver)

64

市民への受診勧奨

65

症例①肝炎ウイルス検診の結果HCV抗体陽性

【年齢・性別】 65歳・男性

【家族構成】 妻と二人暮らし

【既往歴・家族歴】 なし

【経緯】 ・自治体で実施している肝炎ウイルス検診にて
HCV抗体陽性

- ・結果通知に①初回精密検査費用助成制度
②肝炎陽性者フォローアップ事業の資料を同封
- ・フォローアップ事業の申請がないため、
受診状況調査票を送付し受診状況確認
- ・調査票の返信がなく、電話で受診状況を確認
- ・未受診のため、結果及び①②の説明により受診勧奨
→医療機関受診となる

66



私がCoとして意識していること(受診勧奨)



肝炎ウイルス検診 陽性者

結果通知だけでは受診意識に結びつきにくい
(初回精密検査費用助成事業等の資料送付)

・受診状況調査票送付 (対象：フォローアップ事業未申請者)

・受診勧奨 (対象：未受診者、調査票返信なしの者)

結果及び初回精密検査費用助成制度・肝炎陽性者フォローアップ事業
制度の説明

・受診確認と肝炎陽性者フォローアップ事業制度の説明

・家族の肝炎ウイルス検査の受検確認

67

行政機関（市町）の役割



肝炎ウイルス検診の受検勧奨

(未受検者を可能な限りなくしていく)



肝炎ウイルス陽性者に対する医療機関の受診勧奨

・初回精密検査費用助成制度及びフォローアップ事業制度資料の同封

・フォローアップ事業未申請者への受診確認及び受診勧奨



肝炎陽性者の家族に対する受検勧奨



定期的な通院の確認

(定期的に治療・検査ができていないかフォローを行う)

68

068

①

職種別

コーディネーター事例紹介

(内科外来看護師ver)

↑
職種 変えてください

69

②

外来での受検啓発

↑
場面 変えてください

↑
受検啓発 or 受診
勧奨 or 受療支援
いずれかの事例に変えてください

70

症例①不妊治療中にHCV抗体(+)指摘

③

【年
【総

事例紹介 対象者の背景を上書きしてください。
架空の人物を設定してもらってもいいですし、実例でも結構です。

HCV抗体(+)を指摘され当院へ紹介受診。

【家族構成】 夫と二人暮らし

【職歴】 パート(夫は会社員)

【既往歴・家族歴】 なし

71

069



私がCoとして意識していること(受検啓発)

④



肝炎患者の家族の
肝炎ウイルス検査は必須!

コーディネーターとしてどのよう
に意識しているか、

ポイントをこのスライドに上書きしてください。

患者背景やニーズを聞き取り、
情報提供や原因の解消

72



これをやればあなたも肝炎Co



⑤

ウイルス性肝炎指摘

事例紹介を、簡潔にひとことで言うと、

どういう人にどのような
コーディネートをするのか、

このスライドに上書きしてください。

同居の人に
肝炎ウイルス検査を勧める

73

看護師（病院内科外来）の役割

⑥

↑
職種 変えてください

↑
○○○・・・

↑
×××・・・

↑
○×○・・・



↑
職種としての役割を
簡潔にまとめてください

74

職種別

肝疾患患者サポート業務事例紹介

(栄養士 ver)

75

070

症例① DAA治療後の体重増加、血糖、脂質 上昇への対策

【年齢・性別】 74歳・女性

【経緯】 C型肝炎DAA治療にてSVR達成後、QOLが改善、食欲増進。
体重が増加に伴い血糖コントロール増悪。

【既往歴・家族歴】 糖尿病、高血圧、高コレステロール血症、逆流性食道炎

DAA治療終了4週前に主治医に打診し、DAA終了日に栄養指導を予約。
診療の待ち時間中に栄養指導を行い、DAA治療後の食事の注意を促した。

76



私が意識していること

DAA治療でウイルスが消失しても
問題があることをお伝えする



**ウイルス陰性化後の生活習慣病
増悪を出来るだけ阻止する。**

77



肝疾患患者へのサポート業務



DAA治療終了前に



DAA治療終了後に



食欲が増し、体重が増加する可能性をお伝えし、栄養指導を行う

78

C型肝炎患者への**管理栄養士の介入**

C型肝炎の治療終了後、
体重の増加、血糖値や
血清脂質値の悪化が判明



2017年10月～
治療薬内服終了と同時に、
管理栄養士による栄養相談を開始

【現状】

- ・ 内服終了後は診察間隔に合わせて実施。
- ・ 採血後から診察までの待ち時間に行うため、患者さんへの負担が少なく好評。
- ・ 今後栄養相談介入による効果を評価していく予定。

【栄養相談の資料（例）】



0 6 10 12

79

職種別

肝疾患患者サポート業務事例紹介

(理学療法士 ver)

80

071

症例①C型肝炎ウイルスSVR後発癌例に対するTACE入院時の筋力低下防止

【年齢・性別】80歳・男性

【経緯】 C型肝炎DAA治療にてSVRを達成した後、しばらく放置していたところ、肝右葉に5cm、3cm、2cmの癌発生が判明した。Child B。TACE療法のため入院し、TACE施行。約1週間入院尾間の筋力低下が心配

【身体所見、検査】PS良好、肝予備能良好

【経過】

主治医より許可あり、TACE後1日目より、筋力低下防止目的のプログラムでリハビリを開始した。

81



私が意識していること

入院中の患者さんは、運動不足により筋肉量が低下し、サルコペニア発症の危険がある



サルコペニアの重要性を知らせリハビリによる予防を実践する

82



肝疾患患者へのサポート業務



👉 肝癌治療にて入院中の患者さんに

👉 臥床が多く筋力の低下が気になる



主治医の許可を得て、筋力低下防止のためのリハビリプログラムを提案

83

肝トレを体験してみよう！

肝トレ① スクワット

Lets Try!!



○正しいスクワットの姿勢

- ・ 肩幅くらいに足を開く
- ・ イスがあるのをイメージしながらお尻を下ろす

* 身体のラインと足のラインが平行になるようにする

* 膝を曲げる時はゆっくり曲げる

84

事例集を作成することで・・・

- + 具体的なコーディネーターの業務が、職種別、疾患別、機会別に分かる。参考になる。
- + コーディネーター業務といっても、患者さんとの通常の関わりでいいのだと安心出来る。
- + コーディネーター事例集で他職種の活躍を知ること、職種横断的な仲間意識が高まる。

85

